■改訂版人口ビジョン（案）に係る意見一覧［前回部会後の意見］

資料1－1

意見No.	委員名	意見等	意見等に対する市の考え方	ページ
1	北村部会長	東京からかなり離れた地域で「人口増加率」や「合計特殊出生率」が高いところが見受けられるが、なぜこのような結果になったのか。 もし、特別な取組みを行っているのであれば、千葉市でも行えないか。	人口増加率の高い「神奈川県足柄上群開成町（3.98）」、「埼玉県比企郡滑川町（3.89）」等では、駅周辺の住宅建設や新駅が開業しており、これらが主な要因として考えられる。 また、合計特殊出生率の高い「茨城県鹿嶋市（1.77）」、「同県神栖市（1.74）」等では、様々な要因が推測されることから、引き続き、調査研究を行っていく。	19,24
2	北村部会長	MICEで国際会議の開催件数が増えたのは良いが、目的は単に国際会議を増やすことではなく、国際会議に来た方に千葉市を知ってもらう、あるいは観光してもらうということにあると思う。 もう一歩踏み込んで解析する必要があるのではないか。	本市の国際会議は、主に幕張メッセで開催しているが、会場が東京に近いことから来訪者が市内に留まらず東京方面に流れる傾向があり、会議件数の増加が直接的に市内経済の活性化につながっていないと推測する。 このため、昨年度より、国際会議等の日程終了後、または会議時間終了後に周辺地域のショッピング、娯楽などが楽しめるアフターコンベンションツアーの開催を支援している。	111
3	村尾委員	全体的に都市部での人手不足の深刻さがメディアでも発信されているが、千葉市の職種別有効求人倍率を見ると、職種、カテゴリによって大きく差がある。 職種・エリアごとで適度な倍率を保ち、就職のミスマッチや極端な人手不足の解消を目指すべきと感じる。	市内中小企業における人手不足は深刻で、事務的な職業を志向する求職者が多い一方で技術系や福祉系などの求人倍率が高い業種には人が集まらない雇用のミスマッチが発生している。 このような状況を改善し、市内中小企業の人材の定着を支援するため、企業の人材採用力の向上を支援している。 また、技術系業種への理解促進を図るため、ものづくり企業の魅力に触れる機会の創出や、職業訓練校等と連携した技能訓練等の機会を拡充するとともに、キャリア教育を推進するため、関係機関と連携・協働していく。	113
4	村尾委員	国全体では観光インバウンドの急増があるが、千葉市の宿泊数を見ると伸びておらず、なぜこのような状況になっているのか。	本市の宿泊数が伸びていない要因の一つとして、市内ホテルの稼働率が高止まりする中、平成28.29年と新規ホテルが開業していないことが考えられる。	60
5	村尾委員	千葉市の外国人人口の比率2.6%は、全国的に見ても高めであり、今後どう変化するかなど、教育や就労、社会福祉など検討項目だと考える。 外国人の流入は、施策を適切に進められれば、第3の社会増による地方創生に繋がると考える。	本市の外国人人口の割合は、ここ数年増加傾向にあるとともに、国においても新たな在留資格を創設する方針を定め、外国人材の受入れを拡大する方針を打ち出したことから、今後も外国人口は増加することが予想される。 平成29年12月に策定した千葉市多文化共生のまちづくり推進指針を踏まえつつ、支援の充実や活躍の機会の創出・拡充などを検討・推進していく。	―
6	村尾委員	合計特殊出生率について、国のシナリオ（2030年1.68、2040年以降1.94）は、個人的には、大変甘めの予測と感じる。 合計特殊出生率をどう読んでいくかは、将来の少子高齢化問題を議論するに重要なテーマであり、将来を悲観するというスタンスではなく、適切な危機感をもっと持って臨む事が大事だと考える。	今回の将来人口推計にあたり、出生改善シナリオにおいて国のTFRを採用しているが、出生がこれだけ改善してもなお、人口は緩やかに減少することが確認できており、危機感を新たにしたところである。 本市としては、現状をベースとした基準推計を基本としつつ、社会増や交流人口の増を含めた総合的な取組みにより、人口減少の影響を最小限にとどめ、地域活性化を目指していきたい。	92